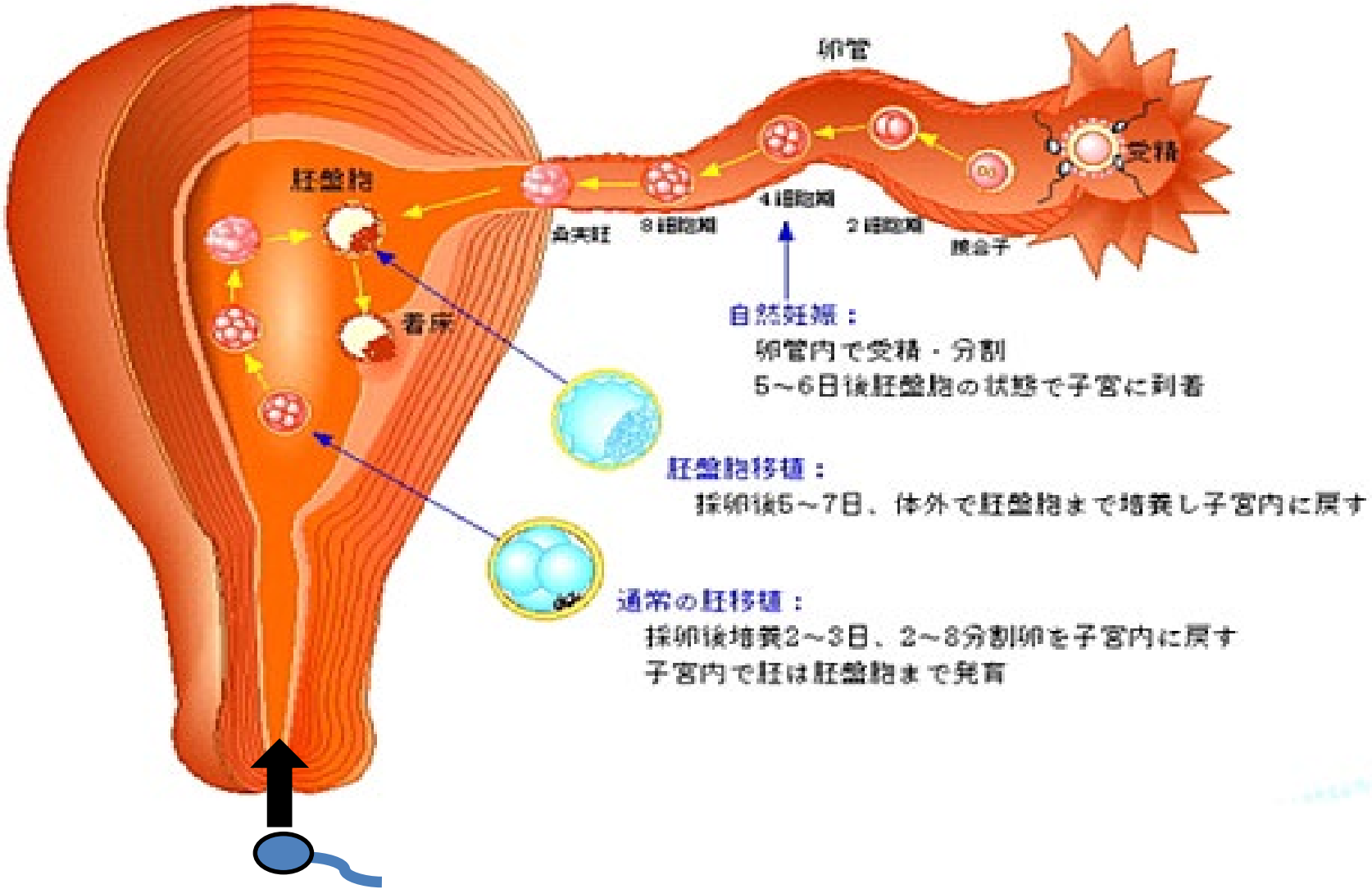
妊娠への流れ


卵管
受精
胚盤胞
4細胞期
桑実胚
8細胞期
2細胞期
接合子
着床
自然妊娠：
卵管内で受精・分割
5～6日後胚盤胞の状態で子宮に到着
胚盤胞移植：
採卵後5～7日、体外で胚盤胞まで培養し子宮内に戻す
通常の胚移植：
採卵後培養2～3日、2～8分割卵を子宮内に戻す
子宮内で胚は胚盤胞まで発育

子宮卵管造影HSG正常所見

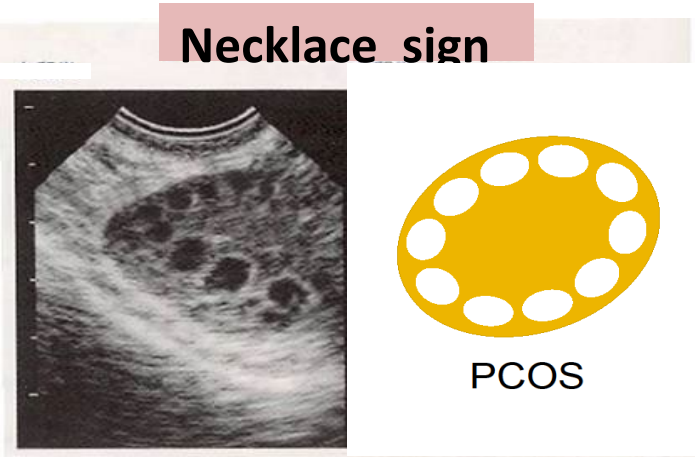
多嚢胞性卵巣症候群の新診断基準

（日本産科婦人科学会生殖・内分泌委員会、2007）

以下の1～3の全てを満たす場合を多嚢胞性卵巣症候群とする

1. 月経異常

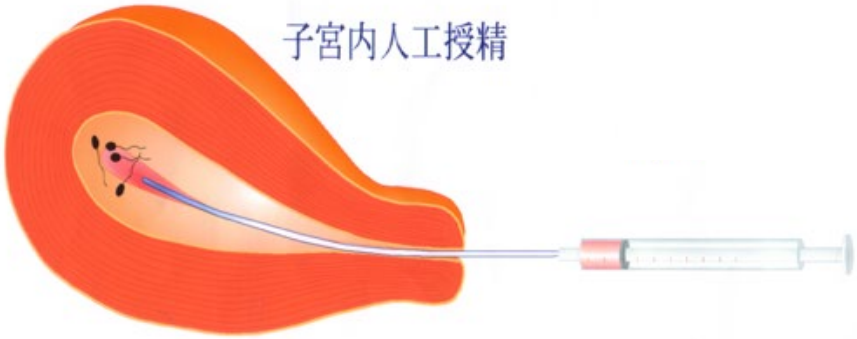
2. 多嚢胞卵巣

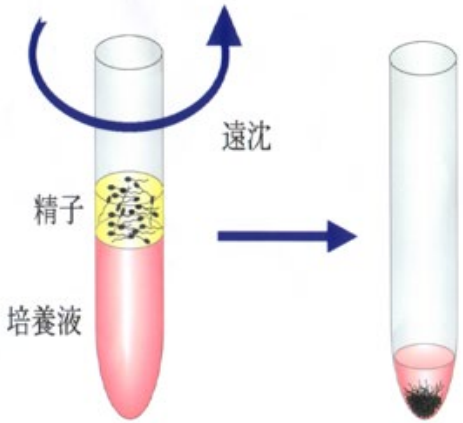


3. 血中男性ホルモン高値
   またはLH基礎値高値かつFSH基礎値正常

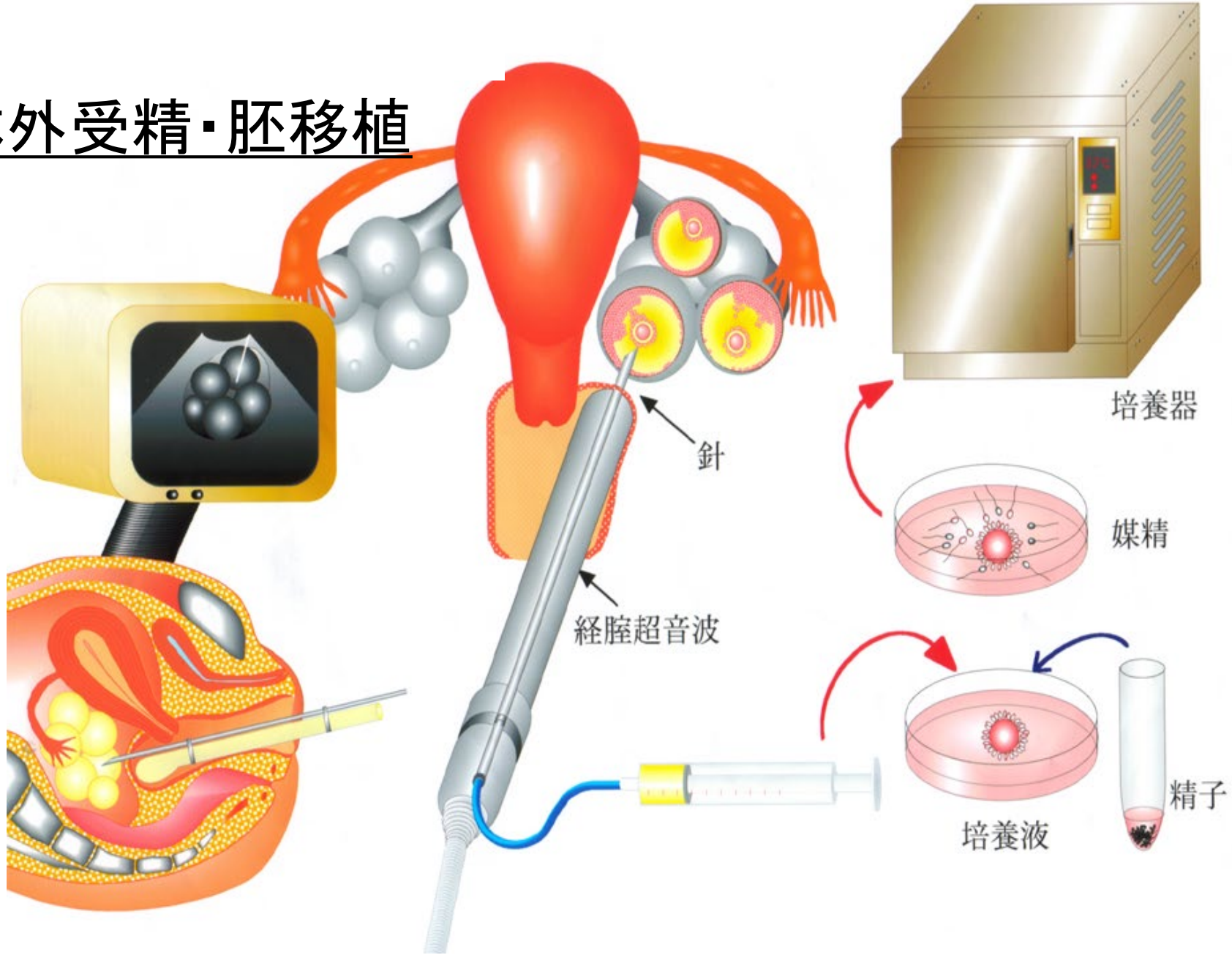
人工授精 Artificial Insemination

人工授精（AIH）には、子宮内人工授精（IUI）
卵管内人工授精（HIT）などがある。
通常洗浄精子を用いて行われる。



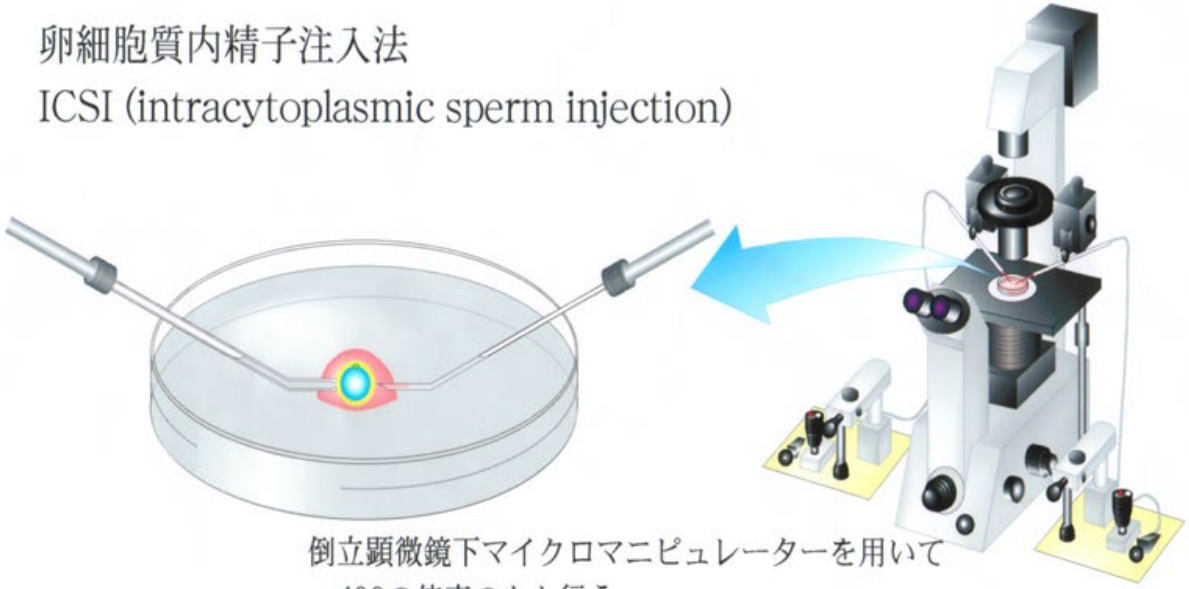


体外受精・胚移植

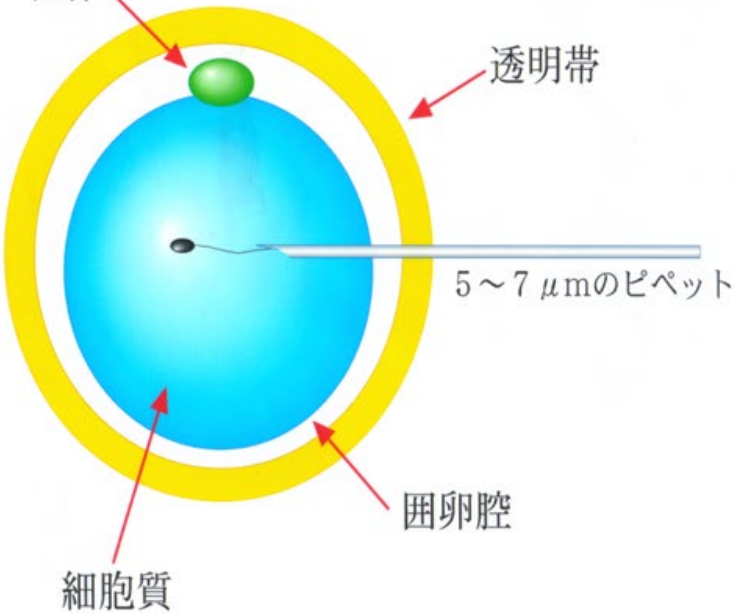


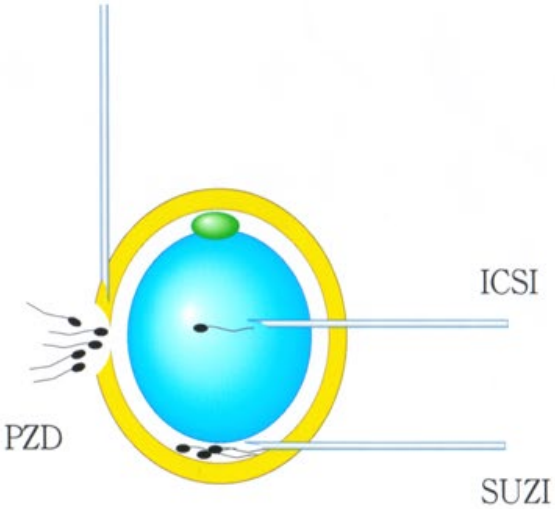
顕微授精

卵細胞質内精子注入法
ICSI (intracytoplasmic sperm injection)

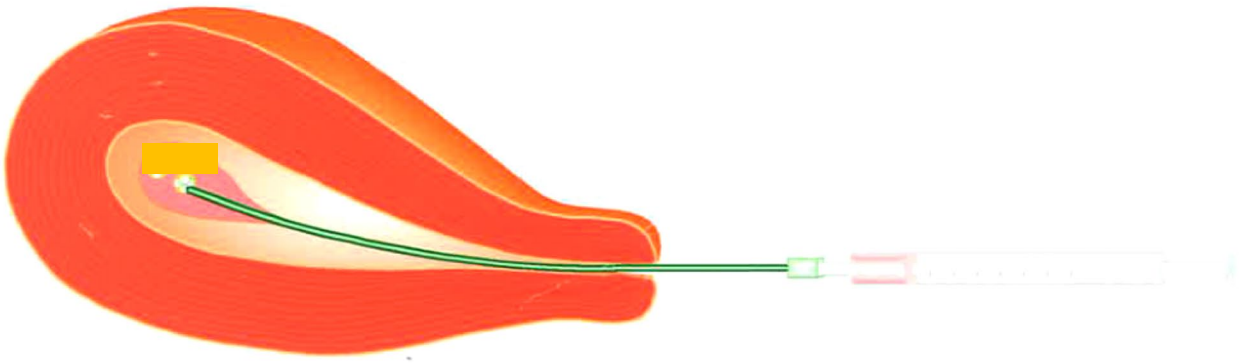


倒立顕微鏡下マイクロマニピュレーターを用いて
x 400の倍率のもと行う

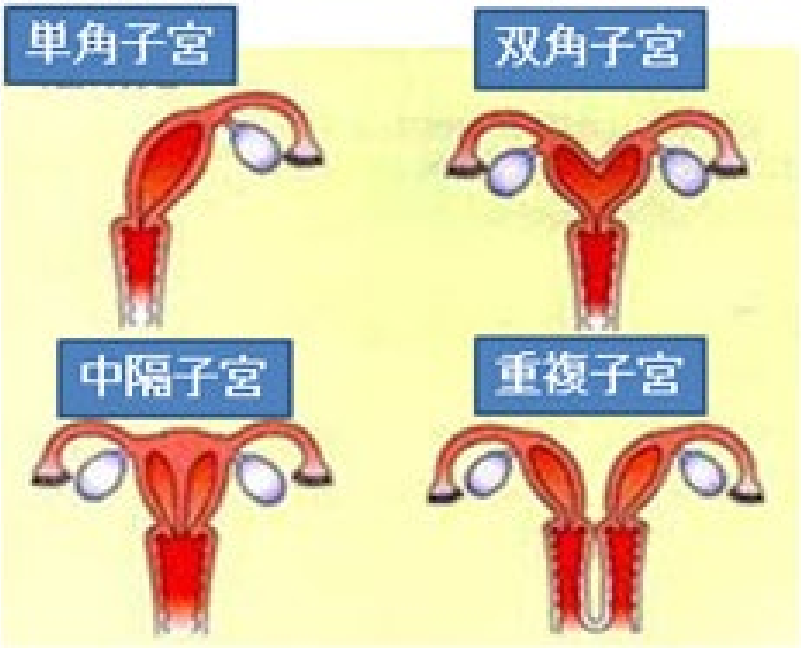




胚移植

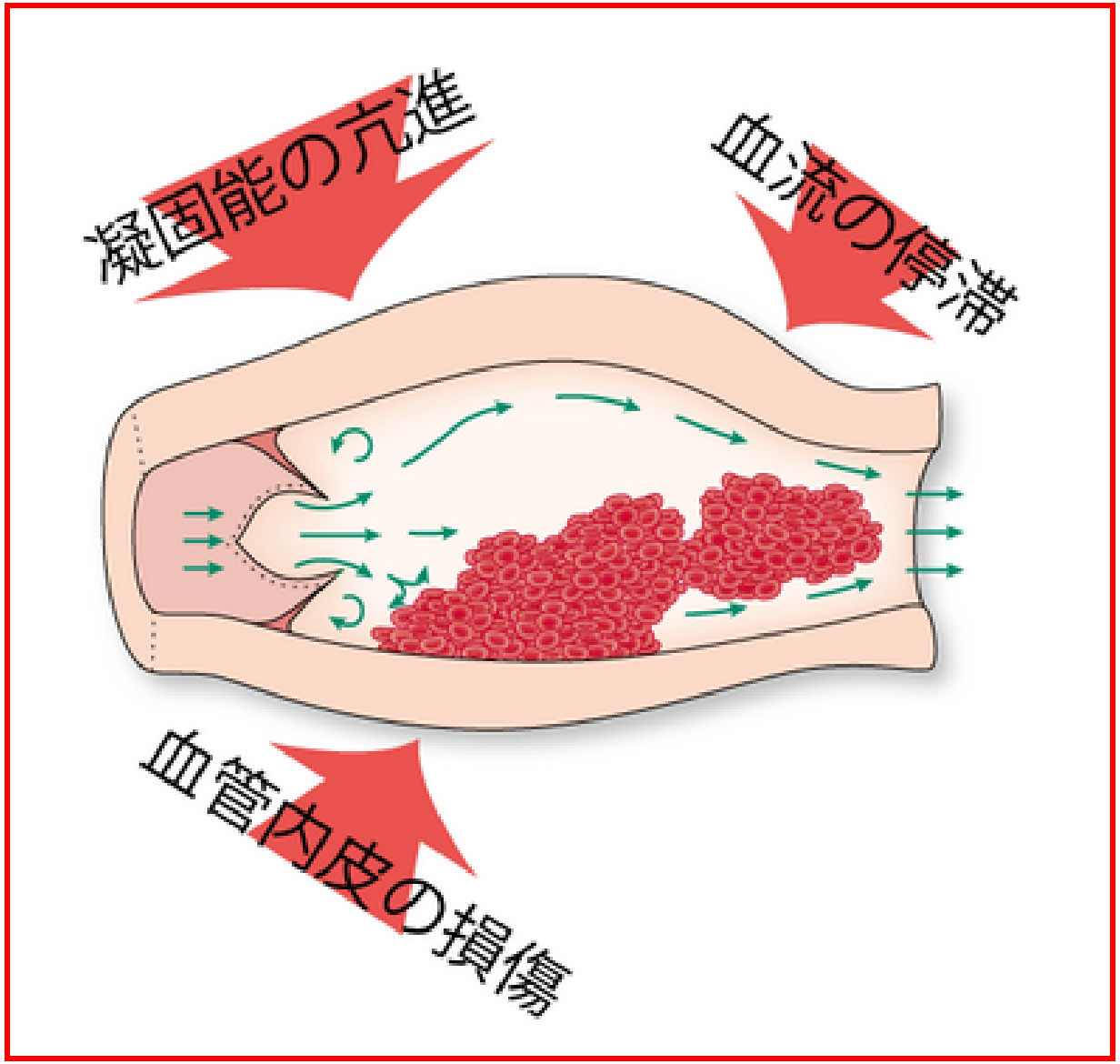


子宫奇形

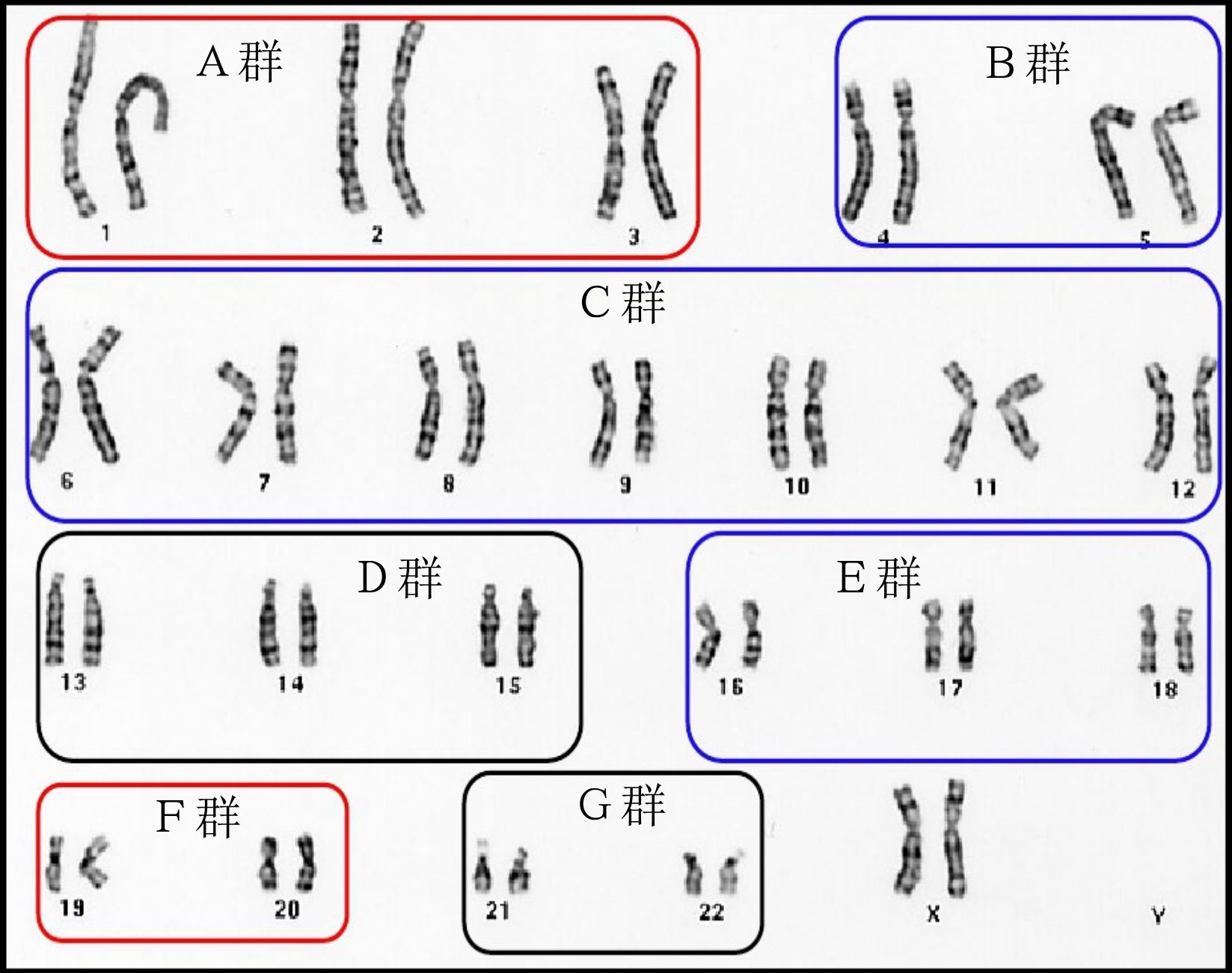


双角子宮

血栓形成

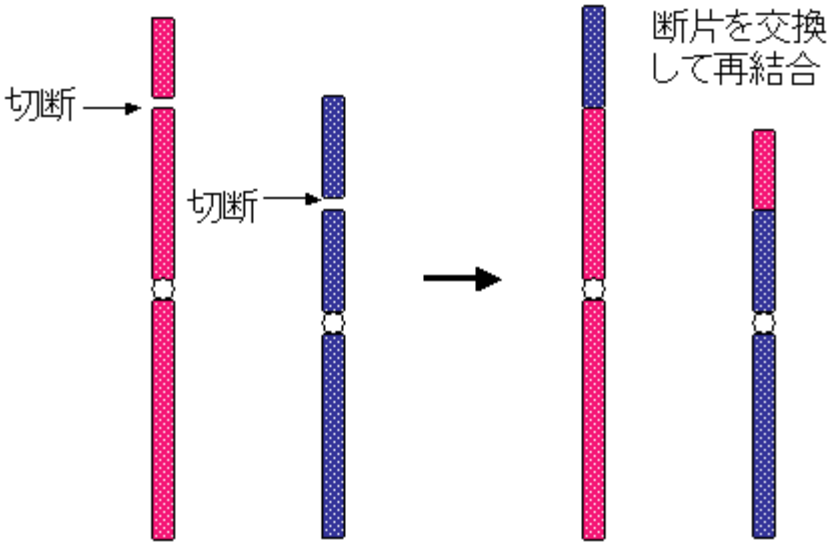


染色体核型

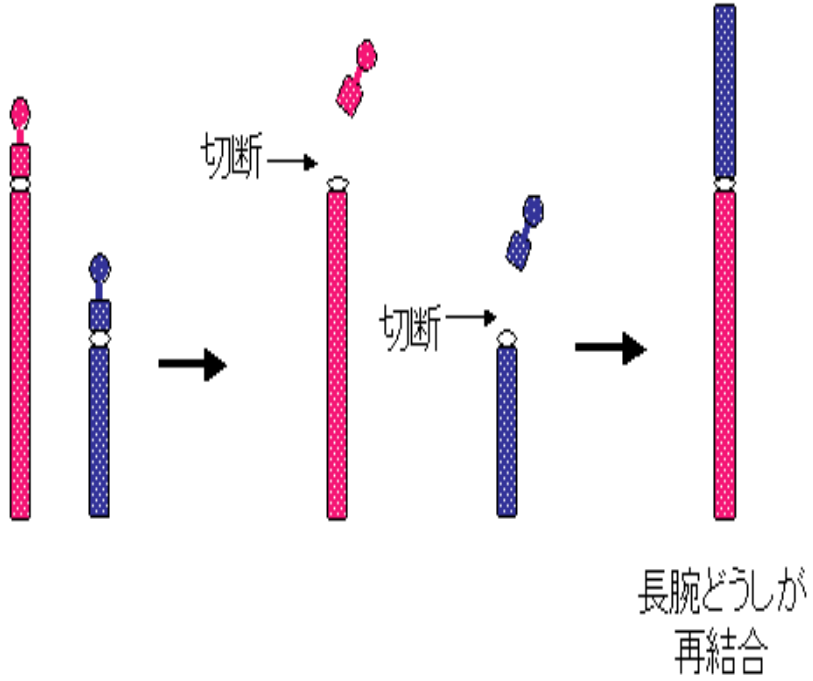

A 群
1
2
3
B 群
4
5
C 群
6
7
8
9
10
11
12
D 群
13
14
15
E 群
16
17
18
F 群
19
20
G 群
21
22
X
Y

染色体均衡型転座

相互転座

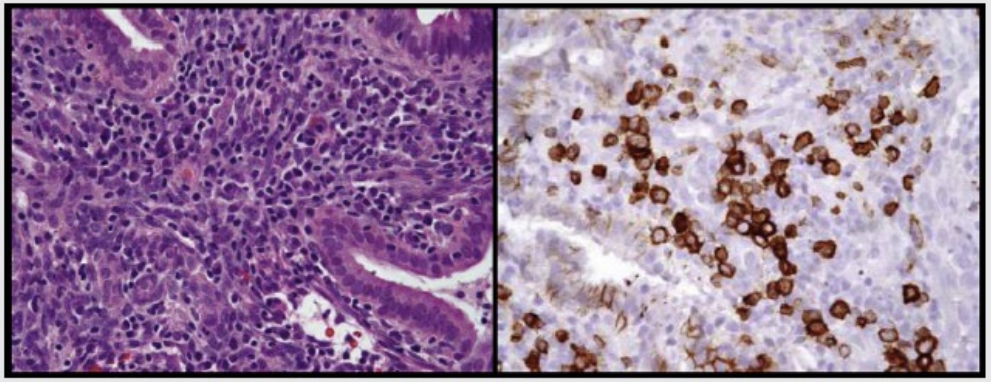


ロバートソン転座



慢性子宮内膜炎

FIGURE 1



Chronic endometritis on endometrial biopsy. (*Left*) Plasma cells identified by morphology using hematoxylin and eosin (H&E) staining. (*Right*) Plasma cells identified in brown by immunohistochemical CD138 staining.

McQueen. Chronic endometritis and RPL. Fertil Steril 2015.

McQueen 2015

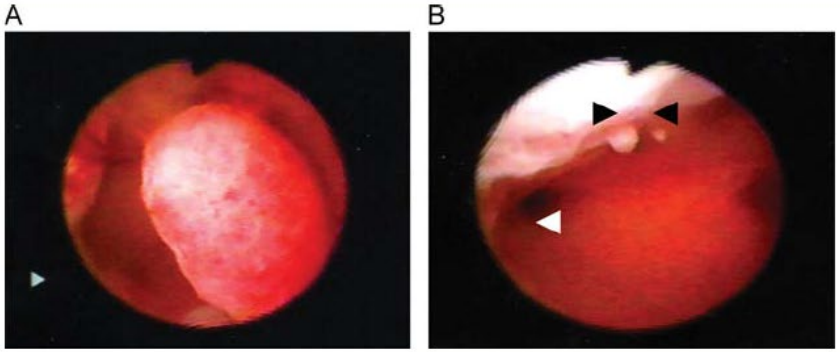


Figure 1 Representative hysteroscopic images of endometrial macropolyps (**A**) and endometrial micropolyps (**B**, black arrowheads). The white arrowhead in (**B**) indicates tubal orifice.

Kitaya 2012

子宮内フローラ検査正常所見

Varinos　子宮内フローラ検査　結果報告書

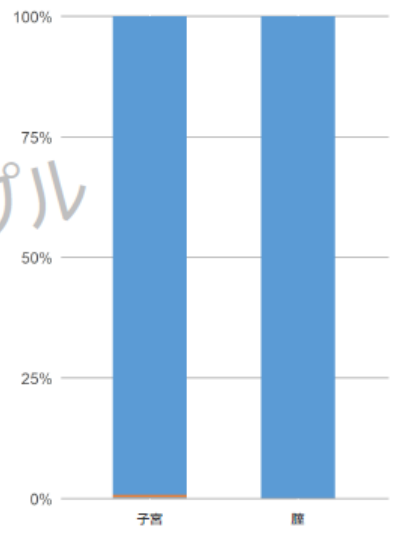
患者ID(被験者コード)	: 123-456789	医療機関名	: バリノスレディースクリニック
患者氏名	: -	担当医師	: ○○ ○○　先生
生年月日	: 1987年02月20日	依頼日	: 2018年11月2日
年齢(採取時)	: 30	受付日	: 2018年11月5日
採取日	: 2018年11月1日 (初回)	報告書作成日	: 2018年11月16日

検査結果[※1]

採取部位	採取時期	ラクトバチルス率	カテゴリー[※2]
子宮 (メドジンピペット)	P+5	**99.3%**	**LDM**
膣 (スポンジスワブ)	P+5	**99.9%**	**LDM**

参考：菌叢プロファイル

	菌名[※3]	子宮 (メドジンピペット)	膣 (スポンジスワブ)
1	Lactobacillus	99.3%	99.9%
2	Gardnerella	0.4%	0.0%
3	Others	0.3%	0.1%
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			



サンプル

Varinos

異常所見

Varinos　子宮内フローラ検査　結果報告書

患者ID(被験者コード)	: 123-456789	医療機関名	: バリノスレディースクリニック
患者氏名	: -	担当医師	: ○○ ○○　先生
生年月日	: 1987年02月20日	依頼日	: 2018年11月2日
年齢(採取時)	: 30	受付日	: 2018年11月5日
採取日	: 2018年11月1日 （初回）	報告書作成日	: 2018年11月16日

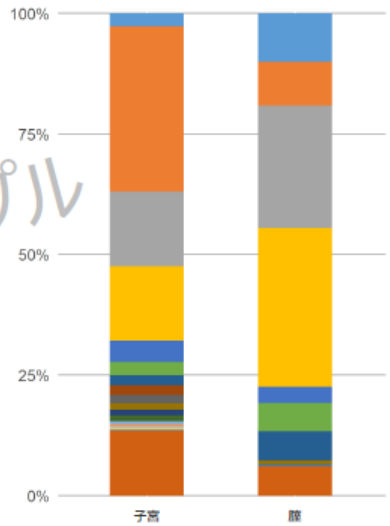
検査結果※1

採取部位	採取時期	ラクトバチルス率	カテゴリー※2
子宮（その他）	P+5	2.7%	NLDM
腟（スポンジスワブ）	P+5	10.0%	NLDM

参考：菌叢プロファイル

	菌名※3	子宮（その他）	腟（スポンジスワブ）
1	Lactobacillus	2.7%	10.0%
2	Gardnerella	33.9%	9.7%
3	Prevotella	15.4%	25.3%
4	Atopobium	15.2%	33.9%
5	Streptococcus	4.3%	3.6%
6	Bacteroides	2.9%	6.1%
7	Mycoplasma	2.1%	6.2%
8	Megasphaera	1.9%	0.0%
9	Peptostreptococcus	1.7%	0.0%
10	Aerococcus	1.4%	0.0%
11	Ureaplasma	1.3%	0.0%
12	Corynebacterium	1.2%	0.0%
13	Burkholderia	0.6%	0.0%
14	Prosthecobacter	0.5%	0.0%
15	Sediminibacterium	0.4%	0.0%
16	Bdellovibrio	0.2%	0.0%
17	Anaerococcus	0.2%	0.0%
18	Bradyrhizobium	0.1%	0.2%
19	Sneathia	0.0%	0.3%
20	Others	14.0%	4.7%
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

サンプル



Varinos